

1年前の今日は、慶応大学に合格した本校卒業生の実話と、映画「ビリギャル」の話をもとに、「3つのC」について話をしました。「3つのC」とは何か、覚えていますか？

それは、Chance (チャンス)、Change (チェンジ)、Challenge (チャレンジ) です。同じ話はしませんが、これまでの私の話は、本校のホームページにある「校長室」で読めるので、是非、読み返してみてください。

さて、今日お話しするのは「3つのG」についてです。これは、Grit (グリット)、Growth (グロウス)、Global (グローバル) の、Gから始まる3つの言葉です。Grit は「やり抜く力」です。Growthは「成長し続けること」です。Globalは「世界に視野を広げること」です。

今年の4月から、さいたま市では全ての市立の小学校・中学校・高等学校・特別支援学校で、この「3つのG」を重視した取組を進めています。西高でも4月から、この3つを踏まえた重点目標を掲げていますので、皆さんにとっても他人ごとではありません。

それは、「Grit 最後までやり抜く力」を身に付け、それを糧に「Growth 生涯に渡って学び、成長し続ける」ことで、「Global 国際的な視野を持って、より良い世界を築くことに貢献する」人になっていこう、そういう力を育てていこう。そういう教育方針です。

この「3つのG」のうち、Growth「成長」、Global「世界的な」という言葉は、皆さんの誰もが知っているでしょう。それに比べてGritは、おそらく馴染みのない言葉ではないでしょうか。そこで、ここでは1つめのGrit「やり抜く力」について、少し話をします。

Gritという言葉の意味は様々ありますが、ここでは2年前に発行されて世界的ベストセラーになった書籍において使われている心理学用語を指します。この日本語版でGritは、「やり抜く力」と訳されています。この本の著者であるアンジェラ・リー・ダックワースというアメリカの心理学教授は、Gritを「目的に向かって情熱を持って取り組み続ける精神」のような意味で使っています。もう少し詳しく言うと、こういうことです。

何かに取り組む時には、興味と情熱を持って、なんとなくではなく意図的な練習や学習を繰り返し、たとえ辛くてもその中に楽しみを見出しながら、自分のためだけでなく人の役に立つという目的を意識して、どんなに困難であっても悲観せず未来に明るい希望を持って、諦めず投げ出さずにやり抜くこと、それが人生で何か大きな物事を成し遂げることができるかどうかの秘訣であって、そのための力Gritを身に付けよう。

このことを西高で、皆さん自身が身に付けるためには、どうすれば良いのでしょうか。

今週末には文化祭があります。今月末には体育祭があります。2年生は来月、修学旅行もあります。3年生のAO・推薦入試は、いよいよ一人一人の具体的な段階に入りました。11月下旬にはロードレース大会も、12月には球技大会もあります。いくつもの学校行事に取り組んでいきながら、さらに皆さん自身の進路希望の実現に向けてやるべきことがあります。

そんな沢山の物事が待ち受けているからこそ、それに取り組む中で身に付けていける力がGritです。目の前に迫った文化祭の準備をイメージしてみてください。

何かに取り組む時には、興味と情熱を持って、なんとなくではなく意図的な練習や学習を繰り返し、たとえ辛くてもその中に楽しみを見出しながら、自分のためだけでなく人の役に立つという目的を意識して、どんなに困難であっても悲観せず未来に明るい希望を持って、諦めず投げ出さずにやり抜くこと。楽しくがんばろう、西高生！